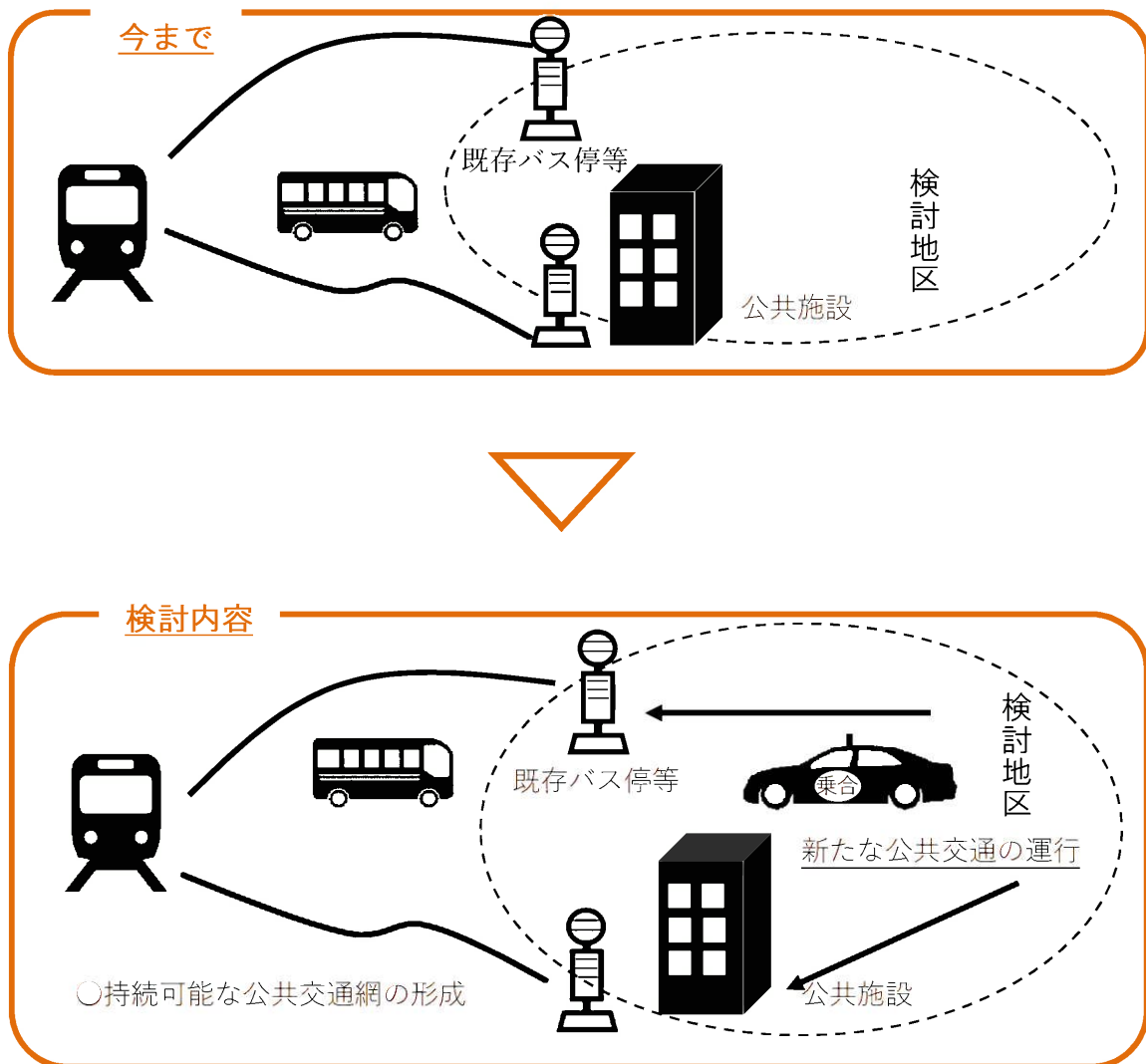


## 新たな公共交通の導入に向けた取り組み 概要

### 1 事業の趣旨

「越谷市地域公共交通網形成計画」に基づき、関係者との協働により路線バスや鉄道駅を利用しづらい地域において、既存の公共交通網を活用しながら、地域のバス停、公共施設、駅などを拠点とした持続可能な新たな公共交通の導入を検討するものです。

#### 新たな公共交通の導入のイメージ



## 2 新たな公共交通の取り組み（概要）


目 的：新たな乗合の公共交通を導入することで、越谷市地域公共交通網形成計画において設定している目標値である乗合交通利用圏域の面積カバー率の増加に繋げることを目的とする。

対 象 者：新方地区内における路線バスや鉄道駅を利用しづらい地域に居住する住民

運行形態：デマンド型乗合タクシー

※デマンド型乗合タクシーとは、利用者の需要に応じて、柔軟に運行し、1つの車両に不特定多数の人が一緒に乗り合う輸送手段である。

<様々な需要と対応手段（公共交通）>

手 段	特 徴			
	目 的 地	時 間	予 約	運 賃
定時定路型バス	バス停からバス停まで	ダイヤ（時間）が決まっている	不要	
デマンド型乗合タクシー	自宅などから決められた目的施設まで	1時間おきなど	必要 （※事前登録も必要）	
タクシー	自らが指定する場所まで	自由	基本的に必要 （※事前登録は不要）	

## 3 取り組みの経過

【平成30年度】

モデル地区の選定

1) 対象地区：新方地区

2) 選定理由：（1）平成26年度にミニバスの試験運行を実施したため、公共交通に対する関心度が高く、鉄道や路線バスを利用しづらい地域が比較的大きいこと。

（2）地区内を運行していた路線バスが平成30年7月1日をもって運行休止となったこと。

（3）地区内における「65歳以上の人口割合」や「75歳以上の人口割合」が市内平均より高いこと。

【令和元年度から現在まで】

新方地区内公共交通導入検討協議会の発足

1) 設 立 日：令和元年(2019年)5月25日

2) 会 員 数：28名

3) 構成自治会：船渡自治会、船渡睦町自治会、新船渡自治会、大杉自治会、大松自治会、大杉新田自治会、北川崎自治会、向畑自治会、大吉自治会

4) 会議の実施：令和元年度 3回

※第2回 新方地区内公共交通導入検討協議会において、地域住民の外出時間や外出先などのアンケート調査を実施。

令和2年度 8回（検討協議会3回、検討部会5回）

※第4回 新方地区内公共交通導入検討協議会において、検討部会を設立。

4 試験運行（案）について

運行期間：令和3年(2021年)6月から令和3年(2021年)11月まで

※平日のみ運行（土・日・祝日は除く）

運行区域：原則、新方地区内

※ただし、地域住民の利用実態に照らし、新方地区の境界から500m以内にある施設は対象とする。

乗降施設：58施設（公共施設、病院、商業施設など）

運 賃：地区内 片道300円

地区外 片道500円

運行時間：午前9時台から午後5時台まで（8時間運行、休憩1時間）

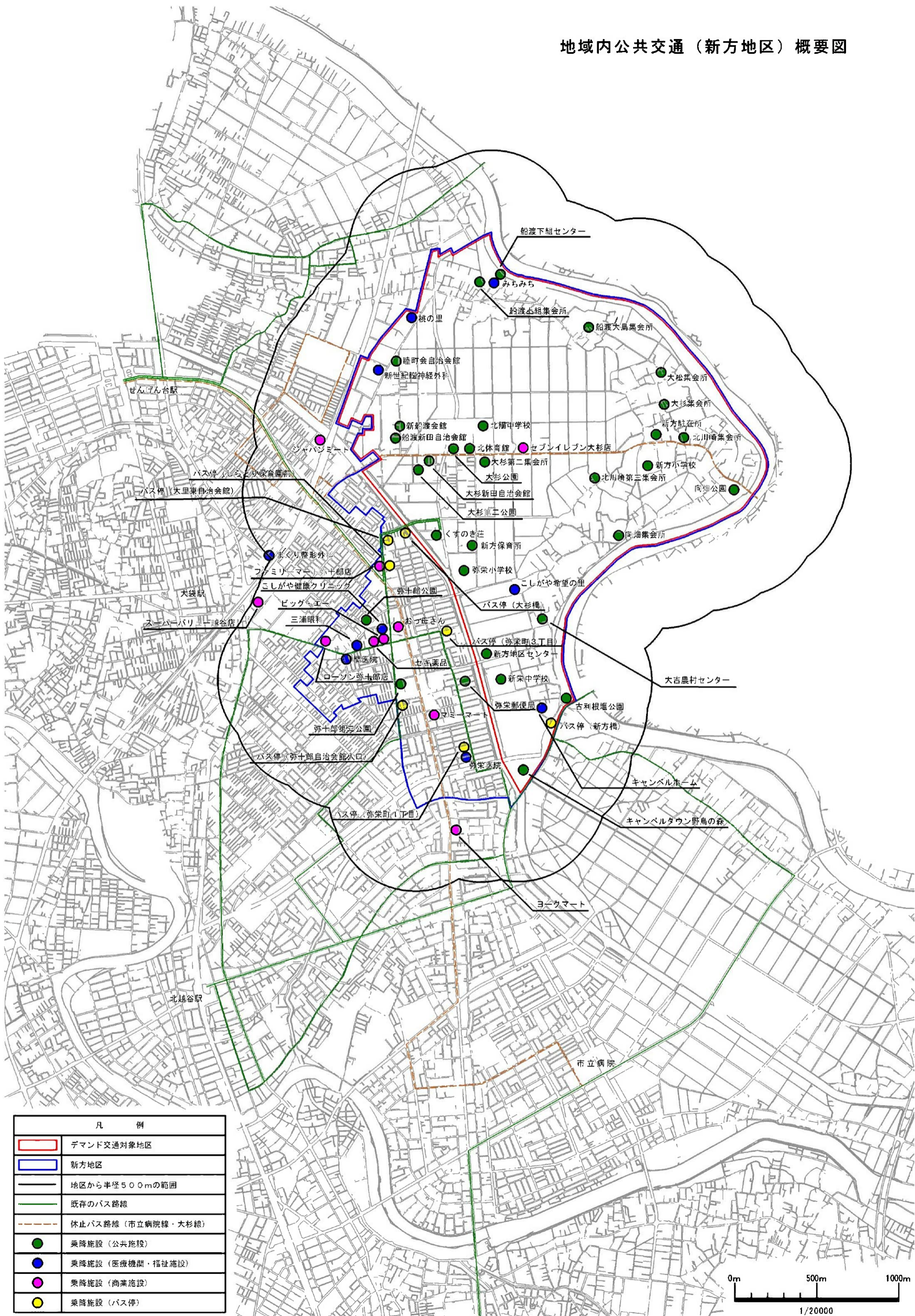
契約形態：車両1台の借上げ

待機場所：新方地区センター及びくすのき荘

5 今後のスケジュール (案)

			越谷市地域 公共交通協議会	新方地区内公共通 検討導入協議会	
令和2年10月	上旬	試験運行 計画(案)作成 ↓			
	中旬			○ (10/18)	
	下旬				
令和2年11月	上旬	試験運行計画の作成及び試験運行の準備 ↓	○ (11/4)		
	中旬				
	下旬				
令和2年12月	上旬				
	中旬			運行内容の詳細協議①	
	下旬				
令和3年1月	上旬				
	中旬			運行内容の詳細協議②	
	下旬				
令和3年2月	上旬			○ (2/10)	
	中旬				
	下旬				
令和3年3月	上旬				
	中旬				
	下旬				
令和3年4月	上旬				
	中旬				
	下旬				
令和3年5月	上旬				
	中旬				
	下旬		○		
試験運行の期間：令和3年6月から令和3年11月まで (予定)					
令和3年9月	上旬	試験運行の集計及び 運行計画(案)の検討 ↓		試験運行の中間報告	
	中旬				
	下旬				
令和3年10月	上旬				
	中旬				
	下旬				
令和3年11月	上旬			○	
	中旬				
	下旬				

地域内公共交通（新方地区）概要図



凡 例	
<span style="border: 1px solid red; display: inline-block; width: 15px; height: 10px;"></span>	デマンド交通対象地区
<span style="border: 1px solid blue; display: inline-block; width: 15px; height: 10px;"></span>	新方地区
<span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 15px; height: 10px;"></span>	地区から半径500mの範囲
<span style="border-bottom: 1px solid green; display: inline-block; width: 20px;"></span>	既存のバス路線
<span style="border-bottom: 1px dashed orange; display: inline-block; width: 20px;"></span>	休止バス路線（市立病院線・大杉線）
<span style="color: green;">●</span>	乗降施設（公共施設）
<span style="color: blue;">●</span>	乗降施設（医療機関・福祉施設）
<span style="color: magenta;">●</span>	乗降施設（商業施設）
<span style="color: yellow;">●</span>	乗降施設（バス停）

0m 500m 1000m  
1/20000

<乗降施設一覧>

No.	名称	住所	備考
公 共 施 設			
101	新方地区センター・公民館	大吉470-1	
102	老人福祉センター くすのき荘	大杉655	
103	新方保育所 (にこにこ含む)	北川崎729-1	
104	新方小学校	北川崎178	
105	弥栄小学校	北川崎725	
106	北陽中学校	大松450	
107	新栄中学校	大吉435	
108	船渡上組集会所	船渡2054-2	
109	船渡下組集会所	船渡1871	
110	船渡大鳥集会所	船渡1744-1	
111	船渡新田自治会館	船渡271-5	
112	新船渡会館	船渡240-1	
113	船渡睦会館	船渡171-1	
114	大松集会所	大松73	
115	大杉集会所	大杉75	
116	大杉第二集会所	大杉684	
117	大杉新田自治会館	大杉549-4	
118	北川崎集会所	北川崎105	
119	北川崎第三集会所	北川崎361-2	
120	向畑集会所	向畑675-2	
121	大吉農村センター	大吉1064	
122	弥十郎公園	弥十郎163-1	
123	弥十郎第二公園	弥十郎439-1	
124	キャンベルタウン野鳥の森(大吉公園)	大吉272-1	
125	古利根堰公園	大吉888	
126	(仮) 向畑公園	向畑973	
127	大杉公園	大杉518	
128	大杉第二公園	大杉548-1	
129	北体育館	大杉510	
130	新方駐在所	北川崎112-1	
医 療 機 関			
201	新世紀脳神経外科	船渡117-1	
202	弥栄医院	弥栄町1-105-184	
203	関医院	弥十郎95	
204	こしがや健康クリニック	弥十郎675-1	
205	三浦眼科	弥十郎687-1	
206	まくり整形外科クリニック	下間久里790-1	地区外
福 祉 施 設			
301	桃の里	船渡43	
302	みちみち越谷	船渡2406	
303	キャンベルホーム	大吉552-1	
304	こしがや希望の里	向畑231	
商 業 施 設			
401	越谷弥栄郵便局	弥栄町2-514-7	
402	おっ母さん食品館 越谷店	弥十郎347-1	
403	マミーマート 弥十郎店	弥十郎554-1	
404	ドラッグストアセキ 弥十郎店	弥十郎678-1	
405	ビック・エー 弥十郎店	弥十郎667-1	
406	ジャパンミート卸売市場 越谷店	上間久里308-1	地区外
407	スーパーバリュー 越谷店	下間久里197-1	地区外
408	ヨークマート 越谷花田店	花田2-2-3	地区外
409	セブンイレブン大杉店	大杉432-5	
410	ローソン弥十郎店	弥十郎125-1	
411	ファミリーマート弥十郎店	弥十郎248-1	
バ ス 停			
501	大杉橋バス停 (せんげん台駅方面、北越谷駅方面)		
502	大里東自治会館バス停 (せんげん台駅方面、北越谷駅方面)		
503	しらとり保育園前バス停 (せんげん台駅方面、北越谷駅方面)		
504	新方橋バス停 (越谷市立病院方面、北越谷駅方面)		
505	弥栄三丁目バス停 (北越谷駅方面)		
506	弥栄一丁目バス停 (北越谷駅方面)		
507	弥十郎自治会館入口バス停 (北越谷駅方面)		

新方地区の公共交通に関するアンケート調査  
(外出行動等に関する調査) 報告書 (概要版)



令和2年(2020年)2月

新方地区内公共交通導入検討協議会  
事務局：越谷市都市整備部都市計画課

## 目 次

第1章 アンケート調査設計 .....	- 3 -
1. アンケート調査実施の目的 .....	- 3 -
2. アンケート調査の概要.....	- 3 -
3. アンケート集計調査の有意性について.....	- 4 -
第2章 アンケート調査結果の概要 .....	- 5 -
問1 自治会について (N=960) .....	- 5 -
問2 家族の人数 (性別年齢別) について (N=960) .....	- 6 -
問3 回答者の属性について (N=960) .....	- 9 -
問4 自動車運転免許の保有状況等について (N=960) .....	- 10 -
問5 交通手段の利便性(不便、便利)について (N=1094) .....	- 12 -
問6 65歳以上の方の主な外出行動 (① 外出目的、② 外出先、 .....	- 14 -
③ 頻度、④ 時間帯、⑤ 交通手段) について (N=1920) .....	- 14 -
第3章 新たな公共交通の導入に向けた検討にあたっての基礎的データ等	- 21 -
第4章 参考資料 (アンケート調査票) .....	- 24 -



## 第1章 アンケート調査設計

### 1. アンケート調査実施の目的

本アンケート調査は、新方地区内の住民の日常生活における外出行動等について把握するとともに、新方地区に適した新たな公共交通の導入について検討を行うための基礎資料とすることを目的に実施した。

### 2. アンケート調査の概要

#### (1) アンケート調査の対象

令和元年(2019年)9月1日現在、新方地区内公共交通導入検討協議会を構成している9自治会内に在住している1,489世帯の住民(1,615枚配布)を対象として実施した。

自治会名	世帯	配布枚数	回収枚数	回収率
船渡	330	368	228	62.0%
新船渡	97	120	55	45.8%
船渡睦町会	111	115	93	80.9%
大杉	208	200	91	45.5%
大松	53	56	53	94.6%
大杉新田	120	130	67	51.5%
北川崎	237	250	160	64.0%
向畑	210	225	145	64.4%
大吉	123	151	68	45.0%
合計	1,489	1,615	960	59.4%

(2) アンケート調査の実施期間：令和元年9月1日から10月16日

(3) アンケート調査の方法：各自治会で配布・回収

(4) アンケート調査表：参考資料のとおり

(5) アンケート調査の回収数：960枚(回収率：59.4%)

## (6) 集計及び分析

新方地区内公共交通導入検討協議会の事務局である越谷市都市整備部都市計画課において行った。

### 3. アンケート集計調査の有意性について

本アンケート調査は、その調査対象となる母集団【(町(丁)字別(大吉、向畑、北川崎、大杉、大松、船渡)の令和2年1月1日時点人口の5,601人<sup>※1</sup>】から、一部を抽出した標本(サンプル)の比率、平均、標準偏差などを調べ、これらの値から母集団の比率や平均を推測する、いわゆる「標本調査」を行っている。したがって、アンケート調査には、母集団に対する標本誤差が生じる。

本アンケート調査は、母集団の推定において、信頼度を95%として信頼区間を算出しており、その際の標本誤差は以下の数式で統計的に算出できる。

$$b = \pm 1.96 \sqrt{((N-n) / (N-1)) \times (P(1-P) / n)}$$

b : 信頼度95%の標本誤差

N : 母集団のサイズ (5,601)

n : 有効回収数 (960)

P : サンプルの回答比率 (0.5)

今回のアンケート調査の有効回答数は、960票であるため、上記算出式に基づくと、標本誤差は±3%となる。

そのため、今回のアンケート調査の結果については、母集団の傾向として評価する場合の必要サンプル数を十分回収できているものといえる。

ただし、前述の通り標本誤差が生じているため、評価・分析にあたっては、信頼区間(今回のアンケート調査の場合は、6%未満)の差異は切り捨てて考える必要がある。

※1 出典：越谷市人口結果集計表(令和2年1月1日現在)政策課

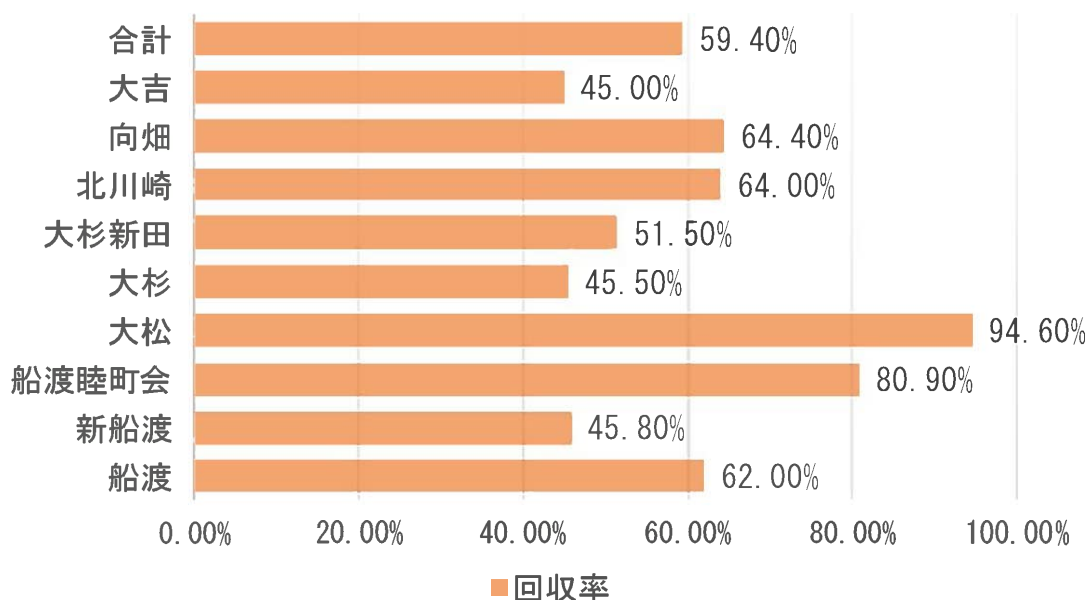
## 第2章 アンケート調査結果の概要

### 問1 自治会について (N=960)



#### データ分析からわかること（問題、課題）

越谷市市政世論調査の回収率が約50%と比較すると、今回のアンケート調査の回収率は約60%と高い結果となった。しかし、各自治会での回収率の差があるため、今後は、地域全体で、公共交通に関心を持ってもらえるような取組を進める必要がある。



○回収率については、

- ・1,489世帯の住民（1,615枚）に配布し、960枚を回収（回収率：約59.4%）

○回収率が高かった自治会（回収率80%以上）は、

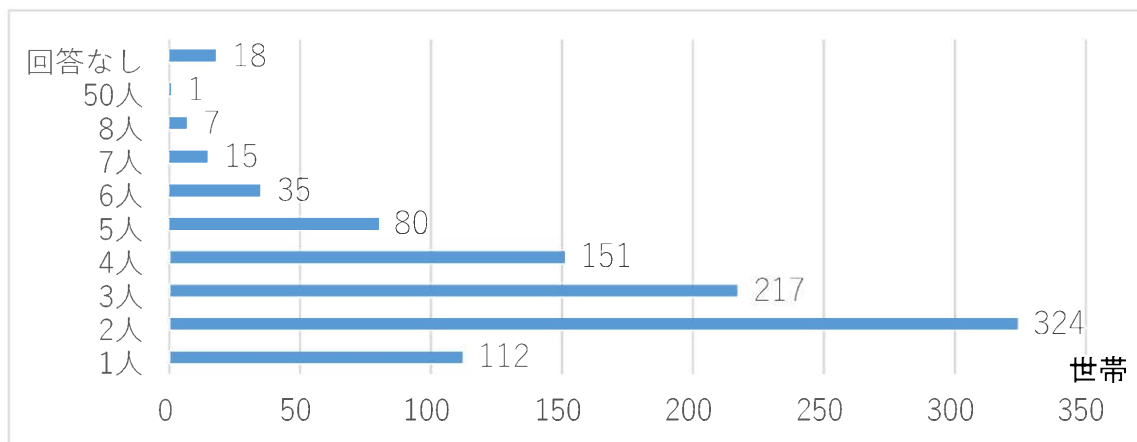
- ・大松自治会（56枚配布 → 53枚回収 : 94.6%）
- ・船渡睦町会自治会（115枚配布 → 93枚回収 : 80.9%）

## 問2 家族の人数（性別年齢別）について（N=960）



### データ分析からわかること（問題、課題）

世帯の人数が、2人以下の割合が約45%と高く、その構成は、「65歳以上の男性と女性」となっていること、また、65歳以上で構成される世帯が約29%と高い割合であることを踏まえ、新方地区に適した移動手段の確保について検討を進めていく必要がある。



	世帯の人数										総計
	1	2	3	4	5	6	7	8	50	回答なし	
1 船渡	23	62	63	42	20	11	3	3		1	228
2 船渡睦町会	12	37	19	10	7	1	1			6	93
3 新船渡	6	23	12	7	3	4					55
4 大杉	10	32	19	14	7	2	2	1		4	91
5 大松	4	17	12	9	7	4					53
6 大杉新田	13	26	14	10	1	2				1	67
7 北川崎	20	56	30	25	14	6	5	3		1	160
8 向畑	17	56	31	19	12	3	4		1	2	145
9 大吉	7	15	17	15	9	2				3	68
総計	112	324	217	151	80	35	15	7	1	18	960

○世帯の家族数は

- ・ 2人が最も多く 324 世帯 (33.7%)
- ・ 3人が 217 世帯 (22.6%)
- ・ 4人が 151 世帯 (15.7%)
  
- ・ 2人以下の世帯は、436 世帯 (45.4%)
- ・ 世帯当たりの人数は、約 2.9 人

(注)世帯の家族数の合計は 2,836 人であるが、性別年齢別の家族数の合計 2,818 人となっており、回答数の相違がある。

●世帯人数別・性別・年代別人数(クロス集計)

	19歳以下(女)	20歳～ 64歳(女)	65歳以上(女)	19歳以下(男)	20歳～ 64歳(男)	65歳以上(男)	計
1人世帯		8	55		24	25	112
2人世帯	1	116	214	6	108	201	646
3人世帯	10	169	121	22	195	118	635
4人世帯	63	177	56	87	157	61	601
5人世帯	55	109	41	62	105	26	398
6人世帯	34	48	28	24	47	21	202
7人世帯	19	24	11	17	22	12	105
8人世帯	4	19	6	8	12	7	56
50人世帯		14	2		34		50
回答なし		1	8		1	3	13
計	186	685	542	226	705	474	2,818

- ・ 1人世帯の回答では、65歳以上の高齢単身者世帯が 80 世帯 (8.3%)  
「65歳以上の女性」が多い (55 世帯)。「65歳以上の男性」は 25 世帯。
- ・ 2人世帯の回答では、「65歳以上の女性」と「65歳以上の男性」の構成が多い。
- ・ 3人世帯の回答では、「20歳～64歳の男性」と「20歳～64歳の女性」と「65歳以上の女性」の構成が多い。

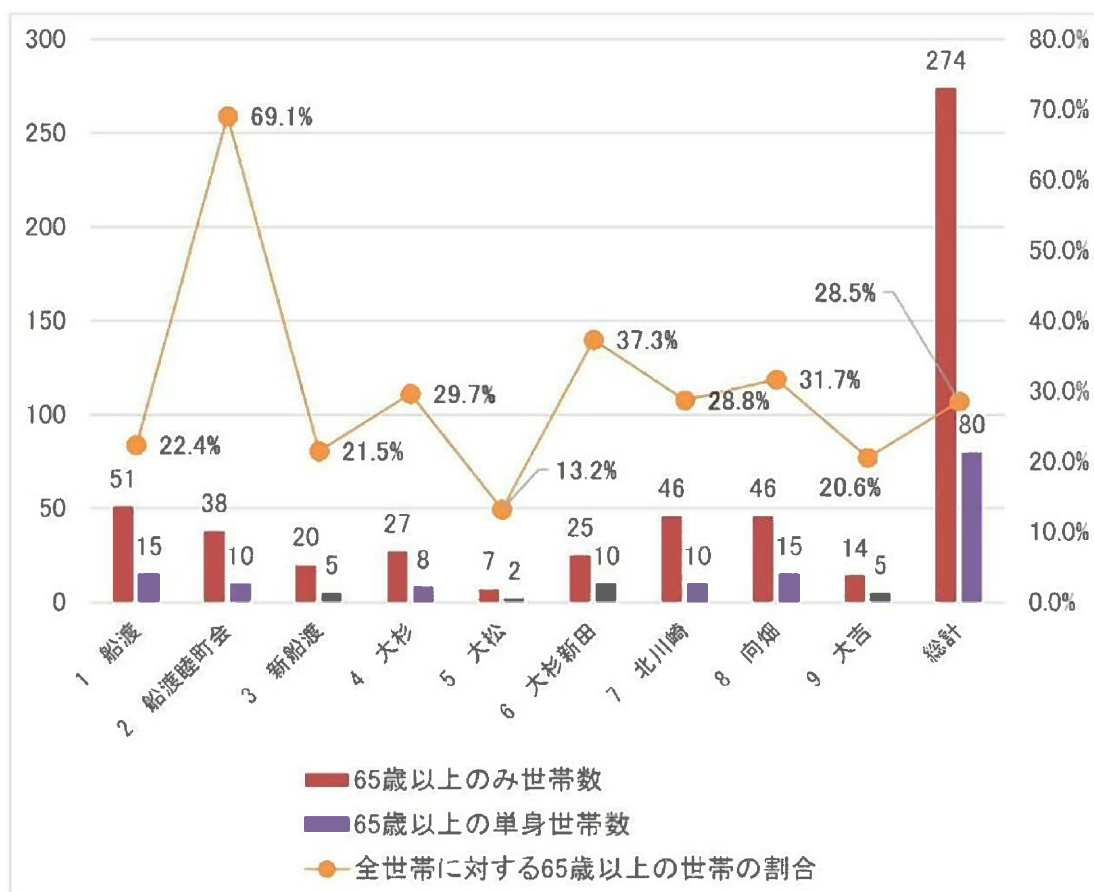
【参考】平成 27 年 10 月 1 日(国勢調査)

65歳以上の高齢単身者数は、12,088 人(女性：7,570 人、男性：4,518 人)  
平成 27 年度の人口(334,693 人)で 143,818 世帯なので、全市の世帯ベースでは、65歳以上の高齢者単身者の割合は、約 8.4%

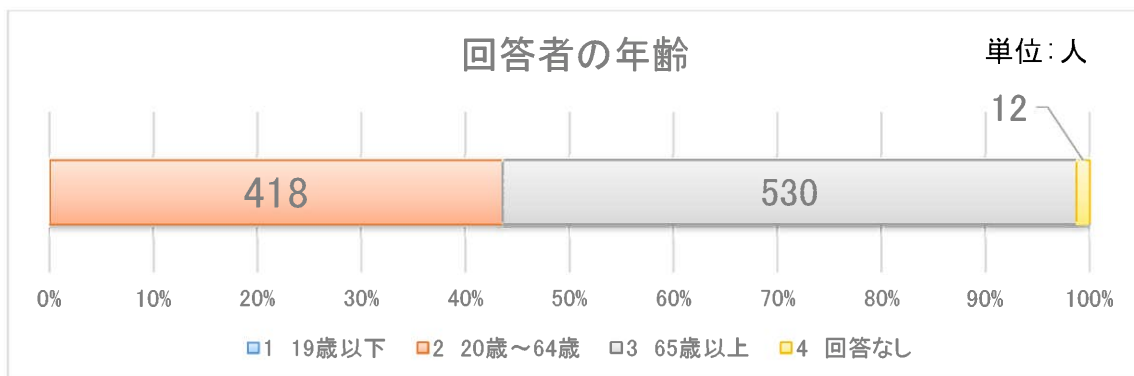
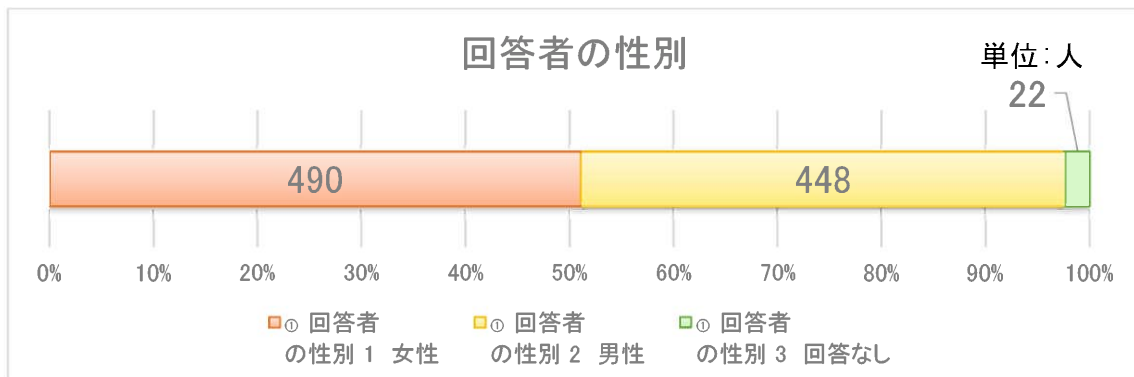
越谷市全体の世帯当たりの人数は、2.26 人。新方地区全体では、2.33 人(平成 30 年度越谷市統計年報)

●自治会別・65歳以上で構成される世帯数(クロス集計)

- ・地域全体では、65歳以上で構成される世帯は、274世帯(28.5%)
- ・船渡睦町会では38世帯(69.1%)、大杉新田では25世帯(37.3%)と地域の平均より高い。



### 問3 回答者の属性について (N=960)



○回答者の性別は、

- ・「女性」が 490 人 (51.0%)
- ・「男性」が 448 人 (46.7%)
- ・「回答なし」が 22 人 (2.3%)

○回答者の年齢は、

- ・「65歳以上」が 530 人 (55.2%)
- ・「20歳～64歳」が 418 人 (43.5%)
- ・「回答なし」が 12 人 (1.3%)

## 問4 自動車運転免許の保有状況等について (N=960)



データ分析からわかること（問題、課題）

地区内に路線バスが運行していない検討協議会内の自動車運転免許保有率（約68%）は、越谷市内での自動車運転免許保有率（約61%）と比較して若干高い。

また、自動車運転免許の返納後、買い物、通院、趣味などの暮らしに必要な移動手段をどのように確保するか検討する必要がある。

	問4 ①-1 免許を持っている	問4 ①-2 免許を持っていない
1 船渡	478	195
2 船渡睦町会	144	88
3 新船渡	85	57
4 大杉	174	55
5 大松	128	40
6 大杉新田	107	52
7 北川崎	313	147
8 向畑	274	151
9 大吉	136	65
総計	1,839	850

○自動車運転免許の保有状況については

- ・「持っている」方が、1,839人（約68.4%（注））
- ・「を持っていない」方が、850人（約31.6%（注））

（注） 免許を持っている「1,839人」と免許を持っていない「850人」の合計の「2,689人」に対する割合

【参考】平成29年12月時点データ

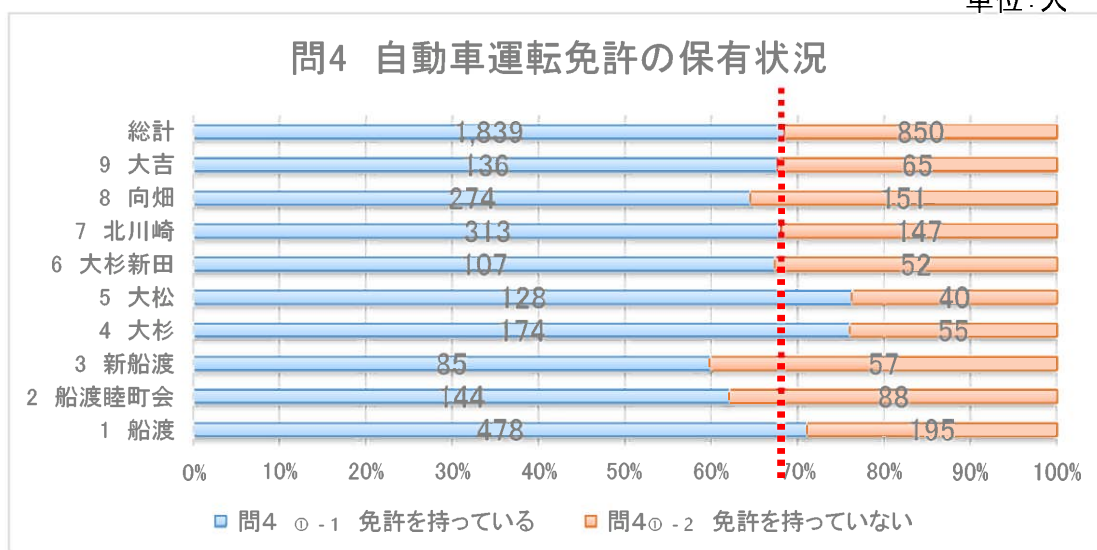
越谷市内の運転免許保有者：206,174人（埼玉県警察ホームページ）

越谷市人口：340,862人（越谷市統計年報）



●自治会別・自動車運転免許の保有状況(クロス集計)

単位:人



- ・ 自動車運転免許保有率（平均値：68.4%）より、特に低い自治会は、「新船渡 85 人（59.9%）」、「船渡睦町会 144 人（62.1%）」。

○自動車運転免許の返納、検討状況について

	① -1 返納した	① -2 返納を考えている	返納を考えている	自動車運転免許の保有者数	返納検討率
1 船渡	19	61	61	478	12.8%
2 船渡睦町会	6	19	19	144	13.2%
3 新船渡	6	14	14	85	16.5%
4 大杉	1	26	26	174	14.9%
5 大松	2	13	13	128	10.2%
6 大杉新田	5	15	15	107	14.0%
7 北川崎	6	33	33	313	10.5%
8 向畑	9	50	50	274	18.2%
9 大吉	4	18	18	136	13.2%
総計	58	249	249	1,839	13.5%

- ・ 自動車運転免許を既に返納した方は、58 人
- ・ 返納を検討している方は、249 人
- ・ 現在、自動車運転免許を保有している方は、1,839 人なので、13.5%の方が返納を検討している。

●自治会別・自動車運転免許の返納検討割合(クロス集計)

- ・ 自動車運転免許の返納検討割合（平均値：13.5%）より、特に高い自治会は「向畑（18.2%）」、「新船渡（16.5%）」

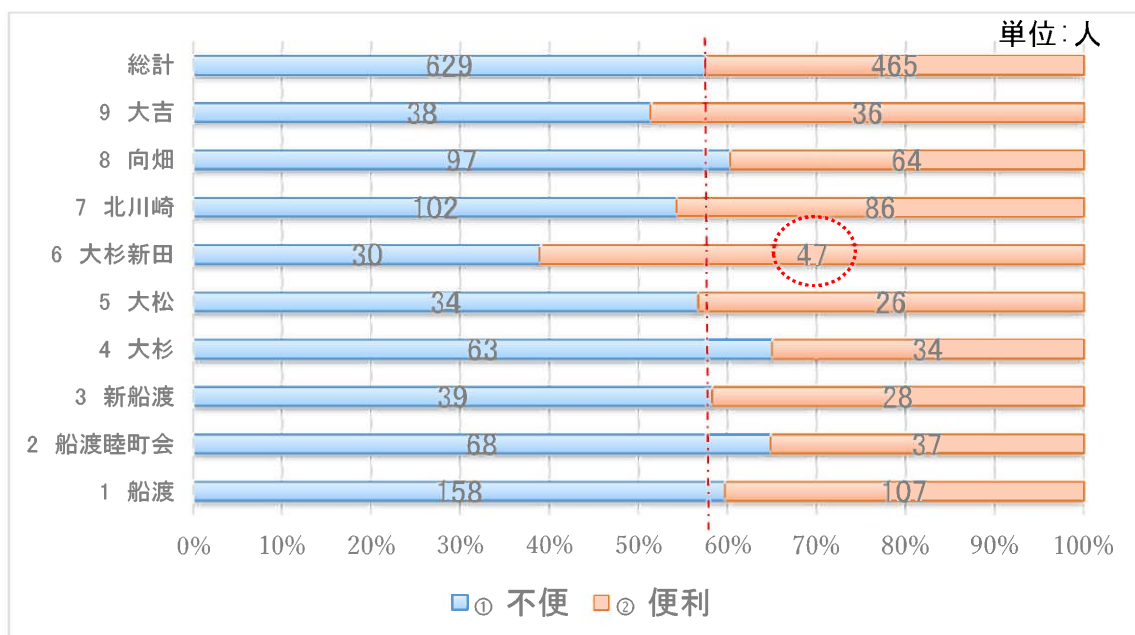
## 問5 交通手段の利便性(不便、便利)について (N=1094)



### データ分析からわかること(問題、課題)

検討協議会内の交通手段については、アンケート集計上、「不便である」が約58%と「便利である」の約43%を上回るが、「両方(不便、便利)」と回答した方が約15%あるため、大きな差はない。これは、現在、自動車で自由に移動できる状況があるものと推測できる。今後は、過度の自動車への依存から公共交通に転換する方策を検討する必要がある。

	① 不便	② 便利	計	不便率
1 船渡	158	107	265	59.6%
2 船渡睦町会	68	37	105	64.8%
3 新船渡	39	28	67	58.2%
4 大杉	63	34	97	64.9%
5 大松	34	26	60	56.7%
6 大杉新田	30	47	77	39.0%
7 北川崎	102	86	188	54.3%
8 向畑	97	64	161	60.2%
9 大吉	38	36	74	51.4%
総計	629	465	1094	57.5%



○交通手段について

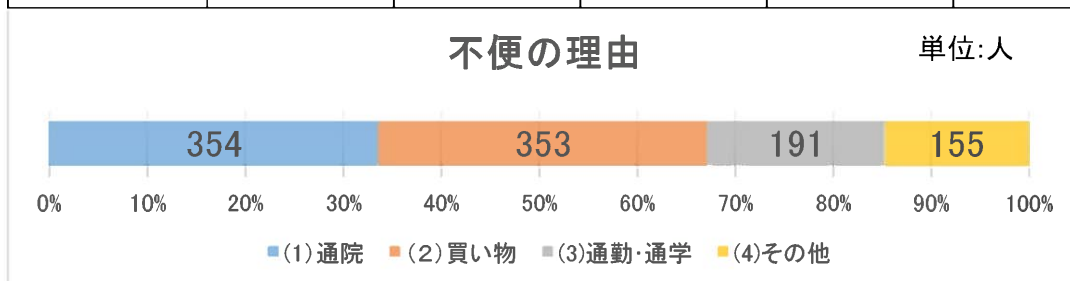
- ・「不便である」と回答した方は、629人（57.5%）
- ・「便利である」と回答した方は、465人（42.5%）
- ※ 「不便」・「便利」の両方を回答した方が、159人（14.5%）

●自治会別・不便率の割合（クロス集計）

- ・不便率の割合（平均値：57.5%）より、特に低い自治会は「大杉新田（39.0%）」

○不便の理由について（複数回答： N=1053）

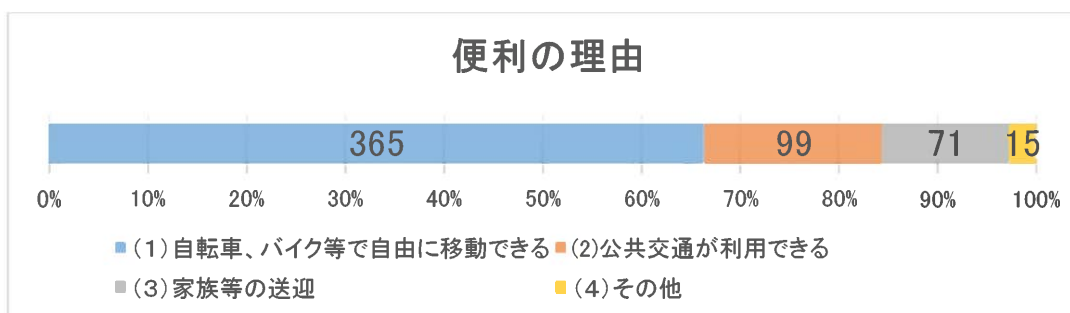
	(1)通院	(2)買い物	(3)通勤・通学	(4)その他	計
不便の理由	354	353	191	155	1,053
割合	33.6%	33.5%	18.1%	14.7%	



- ・不便であると回答した理由は、  
「通院」が、354人（33.6%）  
「買い物」が、353人（33.5%）

○便利の理由について（複数回答 N=550）

	(1)自転車、バイク等で自由に移動できる	(2)公共交通が利用できる	(3)家族等の送迎	(4)その他	計
便利の理由	365	99	71	15	550
割合	66.4%	18.0%	12.9%	2.7%	



- ・便利であると回答した理由は、  
「自転車、バイク等で自由に移動できる」が、365人（66.4%）  
「公共交通が利用できる」が、99人（18.0%）  
「家族等の送迎がある」が、71人（12.9%）

問6 65歳以上の方の主な外出行動（① 外出目的、② 外出先、  
③ 頻度、④ 時間帯、⑤ 交通手段）について（N=1,920）



データ分析からわかること（問題、課題）

① 「外出目的」・「頻度」について

外出目的では、

- ・「買い物」が一番多く 881 人 (45.8%)、
- ・「通院」が 446 人 (23.2%)、
- ・「通勤・通学」が 301 人 (15.7%)

「外出先」・「頻度」・「交通手段」のクロス集計結果

- 買い物は、外出先に関わらず、自家用車(自分)で外出される方が多く  
新方地区内は、概ね「3日に1回」(3.9%)、  
越谷市内では、概ね「3日に1回」(10.7%)  
越谷市外では、概ね「1週間に1回」(2.3%)

また、交通手段別では、外出先に関わらず、自転車の利用も多い。

- 通院は、外出先に関わらず、「1か月に1回」の外出頻度が多い。  
新方地区内：1.6%  
越谷市内：5.8%  
越谷市外：2.1%

また、交通手段別では、自家用車(自分)が多いものの、  
新方地区内では、「自転車 22 人 (1.1%)」  
越谷市内では、「自家用車(家族等) 71 人 (4.0%)」  
越谷市外では、「自転車 17 人 (0.9%)」  
も多い。

- 通勤・通学は、外出先に関わらず、  
自家用車(自分)で「ほぼ毎日」の外出頻度が多い。



## データ分析からわかること（問題、課題）

### ② 「外出先」について

- ・「越谷市内」が一番多く 870 人（45.3%）
- ・「越谷市外」が 319 人（16.6%）
- ・「新方地区内」が 276 人（14.4%）

外出時の交通手段では、自家用車（自分、家族）の利用が 1,240 人（65%）で多いことから、特定施設に集中することなく、新方地区内・市内外に施設は分布している。

### 「外出目的」のクロス集計結果

#### ○新方地区内では、

- 「買い物」が一番多く、191 人（9.9%）
- ・マミーマート：101 人（5.3%）
  - ・おっ母さん：55 人（2.9%）

#### 「通院」が 2 番目に多い 62 人（3.2%）

- ・関医院：18 人（0.9%）
- ・新世紀脳神経外科：14 人（0.7%）

#### ○「越谷市内」では、

- 「買い物」は、一番多く、564 人（29.3%）
- ・スーパーバリュー：112 人（5.8%）
  - ・ジャパンミート：82 人（4.3%）

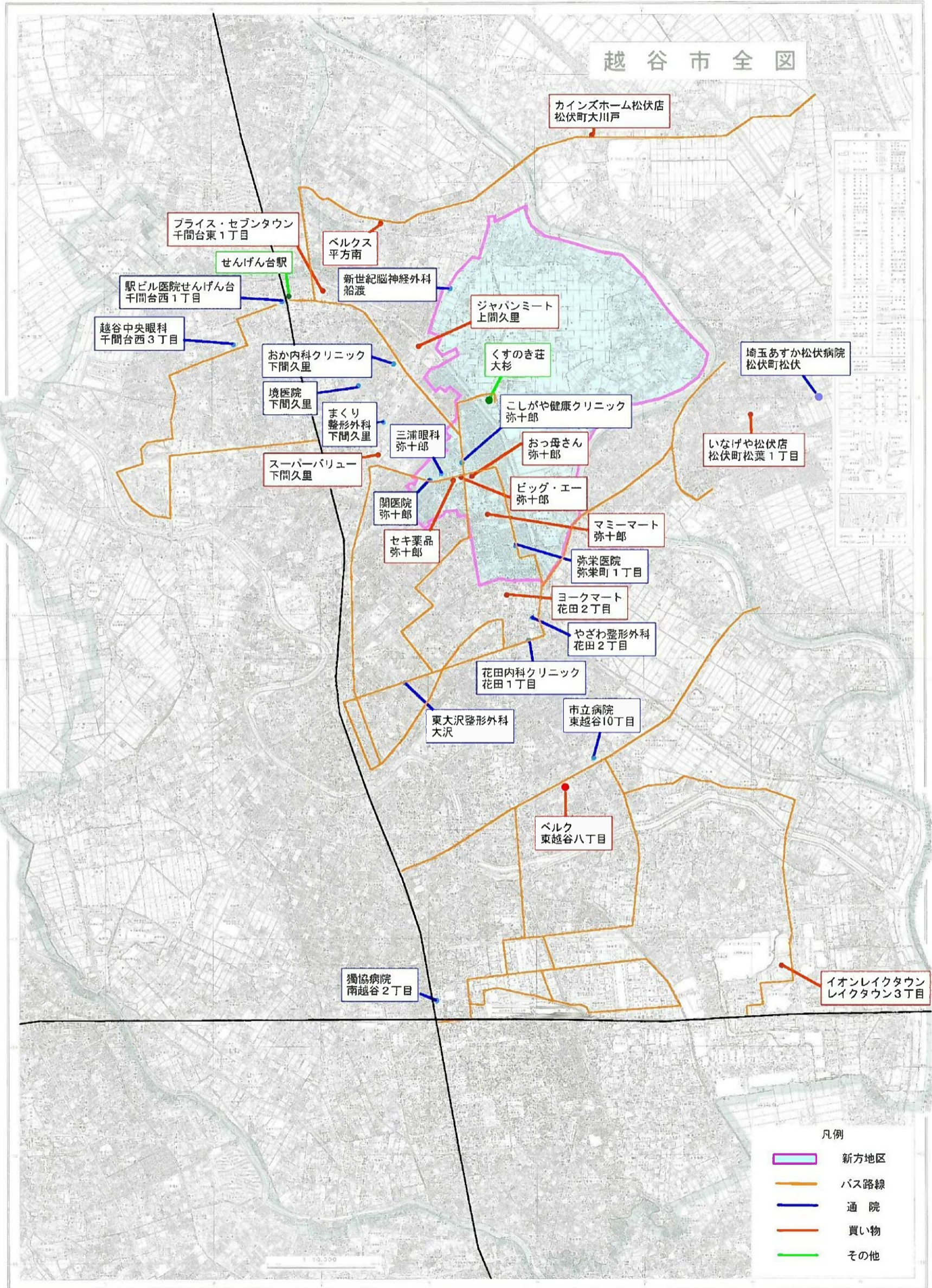
#### 「通院」は、2 番目に多く 247 人（12.9%）

- ・市立病院：63 人（3.3%）
- ・まくり整形外科：22 人（1.1%）

#### ○「越谷市外」では、

- 松伏町が一番多く、138 人（7.2%）
- ・いなげや：74 人（3.8%）
  - ・埼玉あすか松伏病院：18 人（0.9%）
- 春日部市（イオンやイトーヨーカドー等）が 47 人（2.4%）

主な外出先の分布図（各自治会の目的別(通院、買い物、その他)の上位3つの施設)



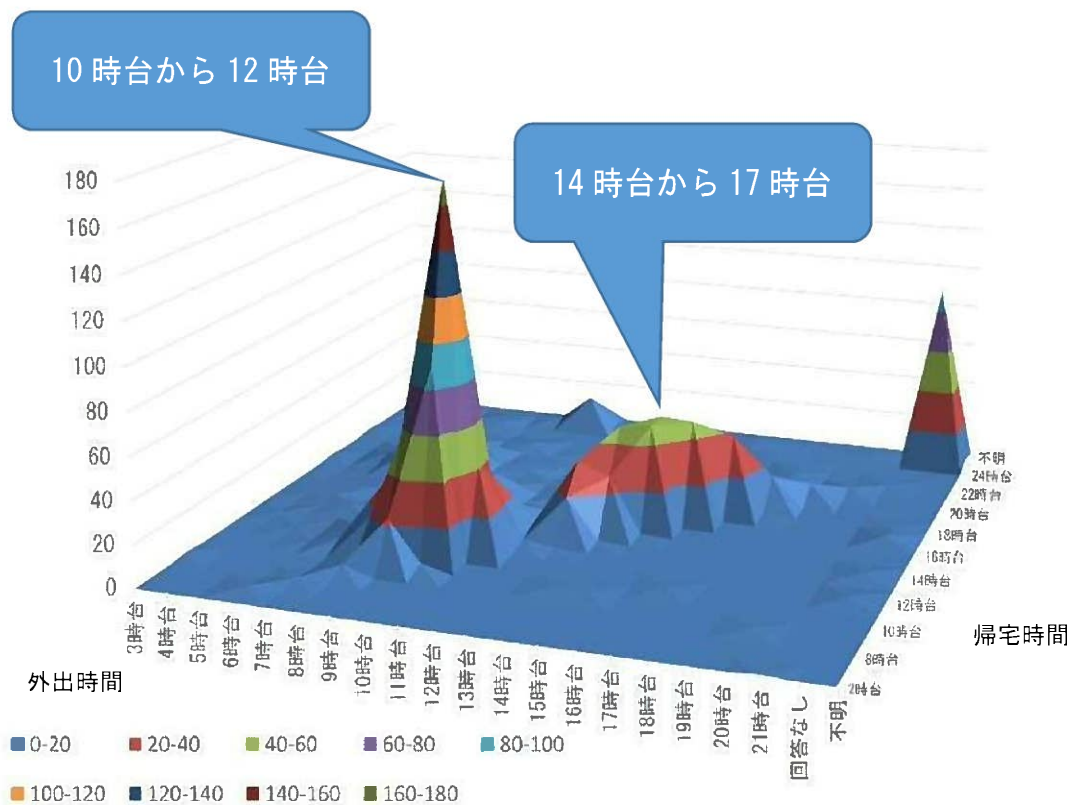


## データ分析からわかること（問題、課題）

### ⑤ 「外出時間」・「帰宅時間」について

午前中の「9時台～12時台」の移動が最も多く、次に、夕方の「14時台から17時台」が多い。

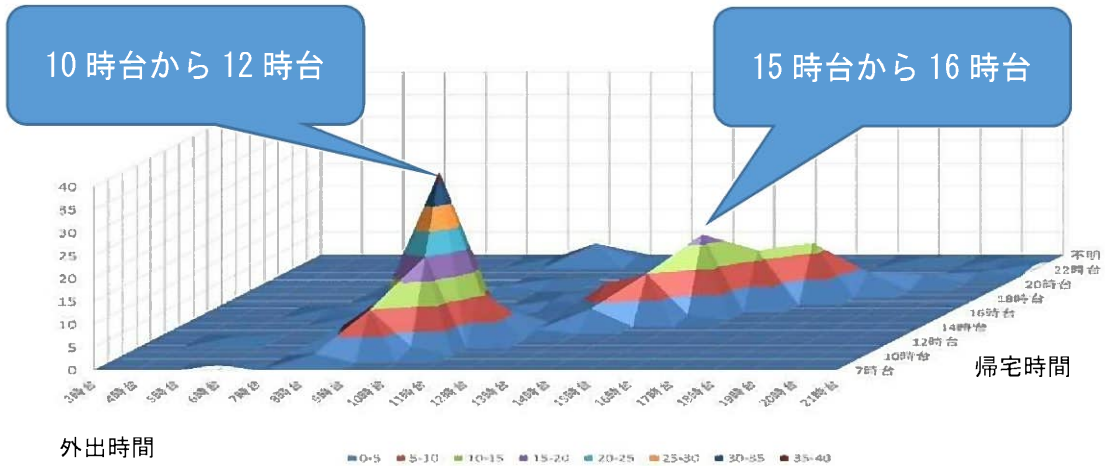
目的別では、「通院」で午前中の「9時台～12時台」が多い一方で、帰りが16時台にあるケースも見られた。また、「買い物」では、午前中の「10時台～12時台」の移動が多く、次に、夕方の「15時台～17時台」も比較的多い。「通勤・通学」は、外出先に関わらず「8時台～17時・18時・19時台」が多い。越谷市内・市外となるほど、帰宅時間が遅くなる傾向となった。



「外出先」のクロス集計結果

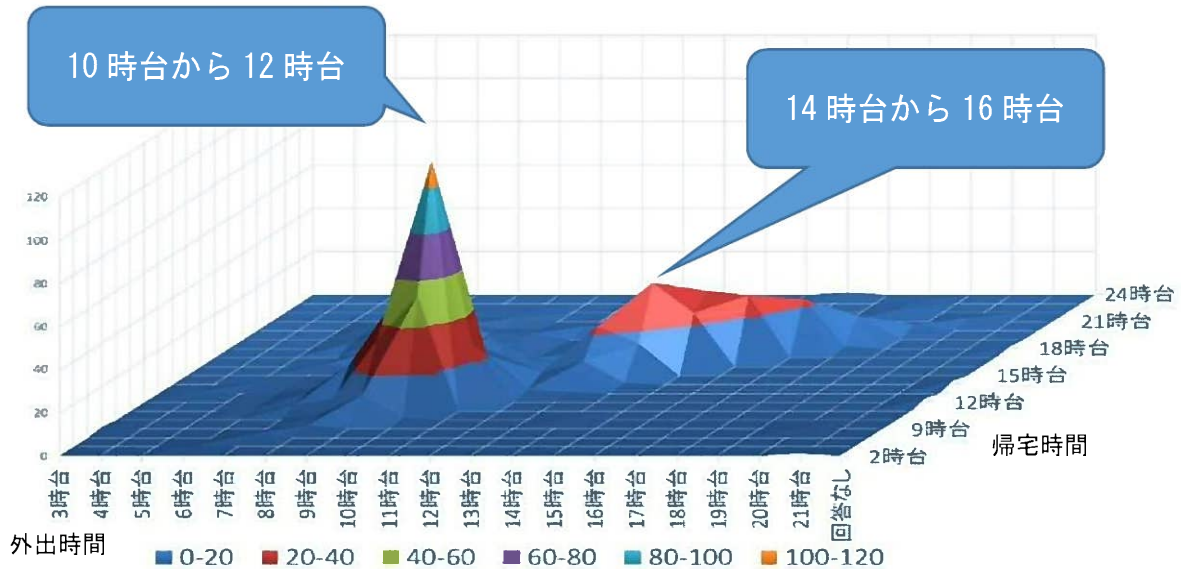
○新方地区内での外出時間、帰宅時間は、

- ・「10 時台に外出し、12 時台に帰宅」が 37 人 (1.9%)
- ・「10 時台に外出し、11 時台に帰宅」が 20 人 (1.0%)
- ・「15 時台に外出し、16 時台に帰宅」は 17 人 (0.9%)



○越谷市内での外出時間、帰宅時間は、

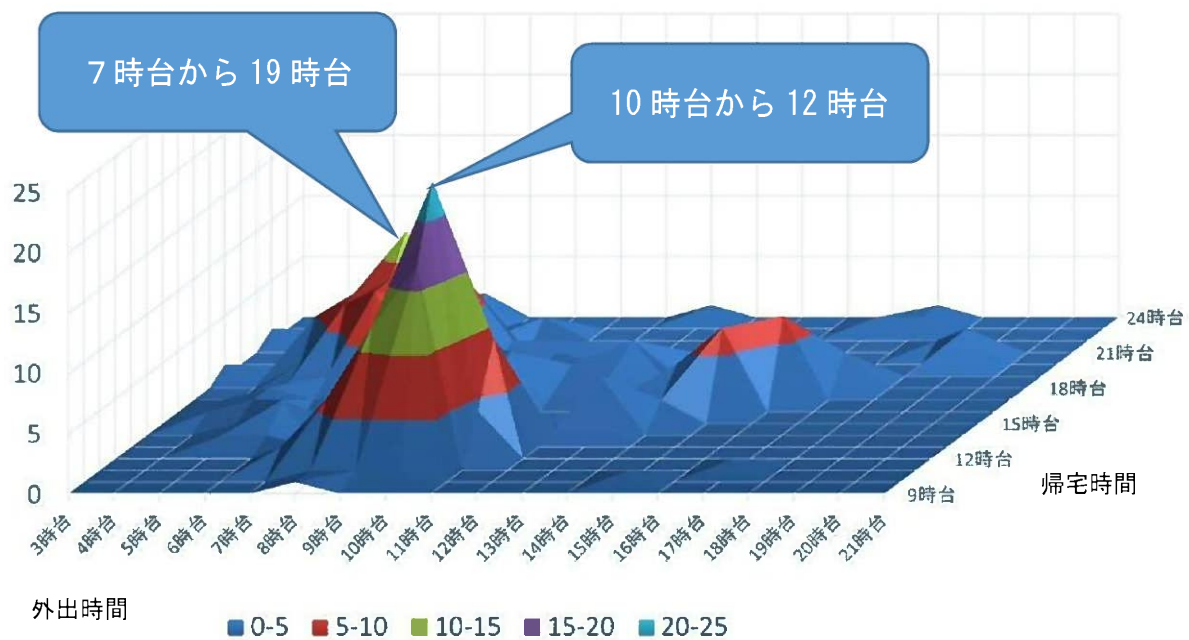
- ・「10 時台に外出し、12 時台に帰宅」が、112 人 (5.8%)
- ・「10 時台に外出し、11 時台に帰宅」が、54 人 (2.8%)
- ・「14 時台に外出し、16 時台に帰宅」が、39 人 (2.0%)





○越谷市外での外出時間、帰宅時間は、

- ・「10 時台に外出し、12 時台に帰宅」が、23 人 (1.2%)
- ・「10 時台に外出し、11 時台に帰宅」が、17 人 (0.9%)
- ・「7 時台に外出し、19 時台に帰宅」が、12 人 (0.6%)





## データ分析からわかること（問題、課題）

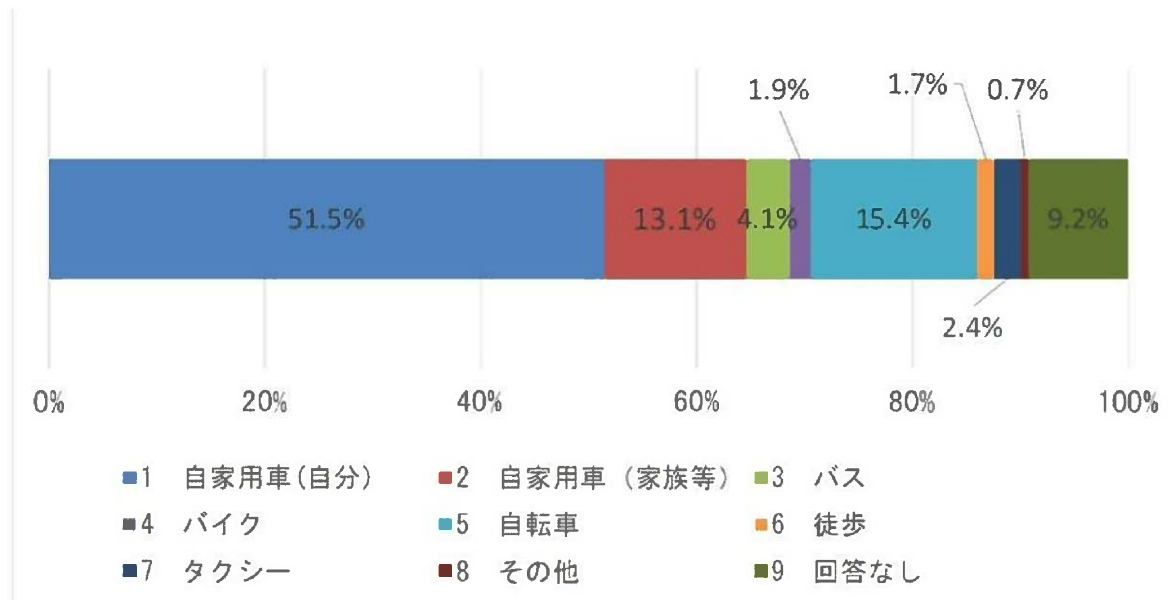
### ④ 「交通手段」について

外出の際の交通手段は、

- ・ 自家用車（自分）が、988 人（51.5%）
- ・ 自転車、296 人（15.4%）
- ・ 自家用車（家族等）が、252 人（13.1%）

の順が多い。

自家用車（自分、家族）の利用が 1,240 人（65%）であるため、自家用車の利用から公共交通への利用の転換への誘導策についても検討を進める必要がある。



- ・ バスの利用分担率（平均値：4.1%）と比較して、「大杉新田」が 15 人（11.2%）と高い。

目的別では、買い物、通院、通勤・通学、その他の順が多い

外出先では、市内（せんげん台駅、東急ストア（北越谷駅前））、市外（せんげん台駅、もしくは北越谷駅と推測できる）地区内（おっ母さん）の順が多い。

買い物は、「1 週間に 1 回」が 4 人と  
通院は、「1 か月に 1 回」が 2 人と最も多い。

### 第3章 新たな公共交通の導入に向けた検討にあたっての基礎的データ

アンケート調査の結果、新方地区内公共交通検討協議会を構成する9自治会（1,489世帯）には、約2,800人が、この地域で生活しているとの集計結果となった。なお、「越谷市人口結果集計表（令和2年1月1日現在）」では、検討協議会内の人口は、約5,600人となっている。

今回のアンケート調査の集計結果では、この値の約50%となっている。この理由としては、アンケート調査の回収率が約59%であること及び新方地区の自治会加入率（79.7%）であることなどが考えられる。

しかし、今回のアンケート調査の結果については、検討協議会の構成自治会の傾向として評価する場合の必要サンプル数を十分回収できているため、調査結果については、「調査項目に対する割合」をもって、今後の新たな公共交通の導入に向けた検討を進めるものとする。

※ 自治会加入率（令和元年5月時点）では、全市ベースで63.6%。新方地区は、13地区内で一番高く79.7%である（市民活動支援課：調べ）

このことから、アンケート調査結果を踏まえ、新たな公共交通の導入に向けた検討にあたっての基礎的数値を下記のとおり整理した。



#### 新たな公共交通の利用者のターゲットについて

##### ○検討協議会内の人口

約5,600人。（越谷市人口結果集計表（令和2年1月時点）を採用）  
・世帯の構成の特徴として、世帯の人数が2人以下の割合は、地区人口ベースで約27%（758人）のため、世帯の人数が2人以下の人口は約1,500人と推計。また、65歳以上で構成される世帯は、約29%（274世帯）から、地区内の世帯数の2439世帯のうち、約700世帯と推計。

##### ○自動車運転免許の持っていない方の割合

自動車運転免許の保有率は約68%であるため、検討地区全体で、自動車運転免許を持っていない方は、約1,800人と推計。

##### ○自動車運転免許の返納を検討している方の割合

約13%であるため約500人と推計。

○検討協議会内における新たな公共交通の潜在的需要として、自動車運転免許を持っていない方（約1,800人）に、返納を検討している方（約500人）を加えた「約2,300人」と推計する。



## 新たな公共交通を利用したいという気持ちに働きかけるポイント(訴求ポイント)について

- 新たな公共交通が、新方地区にとって必要な移動手段であり、地域として「つくり、守り、育てる」意識の向上を図るとともに、運行経費や費用負担割合のバランスを踏まえつつ、新たな公共交通の利用しやすさ(運行経路、運行本数、乗降先、運賃)を検討する必要があります。



## 新たな公共交通の基本コンテンツ「路線、ダイヤ、乗降施設、車両」について

### ○路線について

外出先については、アンケート調査結果でわかるように、市内外に散在していること、また、外出先として挙げられた施設の一部は、既存バス路線を活用することで移動できることから、路線バスのような定時定路線型ではなく、原則、タクシー車両を活用し、新方地区内を運行範囲とする区域運行で検討を進めることが望ましいと考えられます。

### ○ダイヤについて

運行時間帯については、アンケート調査結果で得られた買い物や通院等の移動目的に対応できるように、運行時間帯は「午前9時台から午後5時台」とし、その頻度は、1時間に1便(注)を基本として、検討を進めることが望ましいと考えられます。

(注)1時間に1便の理由としてはアンケート調査結果で、10時台に外出して12時台に帰宅する移動が一番多く移動全体の9%であること、新たな公共交通の潜在的な利用対象者数(約2,300人)であること、市内における路線バスの移動手段分担率は約1%であることを踏まえ、ピーク時の利用者数は、 $2,300 \times 0.09 \times 0.01 = 2$ 人)と推計した。

### ○乗降施設について

乗降施設については、原則、アンケート調査結果で得られた新方地区内の施設に加え、新方地区内のバス停や公共施設とし、検討を進めることが望ましいと考えられます。

なお、「せんげん台駅」や「市立病院」や隣接する「松伏町」への移動手段については、既存バス路線に影響を及ぼさないよう「運賃」等による差別化を

図るなどの検討を進める必要があると考えられます。

#### ○車両について

新たな公共交通で使用する車両については、ピーク時の利用者数が2人程度と見込まれることから、タクシー車両（セダンタイプ）を活用することが望ましいと考えられます。

ただし、最近、ユニバーサルタクシーを導入しているタクシー事業者も多くなっているので、このタイプの車両での運行も視野に入れ検討を進める必要があると考えられます。

なお、越谷市内のタクシー事業者は、ジャンボタクシー（ワンボックス車両）は所有していないため、運行経費を少なくする観点から検討の対象外とします。

4章 参考資料 (アンケート調査票)

新方地区の公共交通に関するアンケート調査票  
～ 外出行動等に関する調査 ～

このたび、新方地区内の東部9自治会などから選出した会員等で構成された「**新方地区内公共交通導入検討協議会**」を設立しました。

今後、当検討協議会では、市などと連携し、新方地区に適した新たな公共交通の導入に向けて地域が主体となり、具体的な運行経路やサービス水準、費用負担のあり方などについて検討を進めていく予定です。

つきましては、新方地区にお住まいの皆様の日常生活における外出行動等について把握する必要があるため、是非、この趣旨をご理解いただき、アンケート調査にご協力いただきますようお願い申し上げます。



新方地区内公共交通導入検討協議会

会長 阿比留 輝之 (船渡睦町会自治会長)  
・船渡自治会、船渡睦町自治会、新船渡自治会  
大杉自治会、大松自治会、大杉新田自治会  
北川崎自治会、向畑自治会、大吉自治会

【事務局】越谷市都市整備部都市計画課  
担当者名 染谷、北島、関根  
電話番号 048-963-9221 (直通)

○アンケートの回答方法等について

1. ご回答は、アンケート調査票に直接ご記入してください。回答欄の番号に○印で囲んでいただくか、回答欄の( )に必要事項をご記入ください。

2. すべてのご回答が終わりましたら、このアンケート票を封筒に入れて、**令和元年(2019年)10月10日(木)**までに、各自治会の役員の方にお渡しください。よろしくお願ひ申し上げます。

○本アンケート調査は、**10分程度**で回答できます。

○本アンケート調査票は調査目的以外に使用しません。回答は統計的に処理を行いますので、個人が特定できるような情報が公表されることはありません。

○不明な点がありましたら、お手数をお掛けしますが事務局までお問い合わせください。

問1 あなたがお住まいの自治会について、おたずねします。  
該当する自治会を、ひとつだけ○印で囲んでください。

- |          |            |           |          |
|----------|------------|-----------|----------|
| 1. 船渡自治会 | 2. 船渡睦町自治会 | 3. 新船渡自治会 | 4. 大杉自治会 |
| 5. 大松自治会 | 6. 大杉新田自治会 | 7. 北川崎自治会 | 8. 向畑自治会 |
| 9. 大吉自治会 | 10. わからない  |           |          |

問2 同居されているご家族について、性別年齢別にお答えください。

( ) 人家族	19歳以下・・・女性( )人、男性( )人
	20歳～64歳・・・女性( )人、男性( )人
	65歳以上・・・女性( )人、男性( )人

問3 あなたご自身のことについて、おたずねします。

①あなたの性別について、該当する番号をひとつだけ○印で囲んでください。

- |       |       |
|-------|-------|
| 1. 女性 | 2. 男性 |
|-------|-------|

②あなたの年齢について、該当する番号をひとつだけ○印で囲んでください

- |          |            |          |
|----------|------------|----------|
| 1. 19歳以下 | 2. 20歳～64歳 | 3. 65歳以上 |
|----------|------------|----------|

問4 同居しているご家族の方の自動車運転免許の保有状況などについて、おたずねします。

①自動車運転免許の保有状況別に、その人数をお答えください。

- |                  |                   |
|------------------|-------------------|
| 1. 免許を持っている⇒( )人 | 2. 免許を持っていない⇒( )人 |
|------------------|-------------------|

②自動車運転免許の返納状況別に、その人数をお答えください。

- |                               |
|-------------------------------|
| 1. 自動車運転免許を返納した ⇒( )人         |
| 2. 今後、運転免許を返納することを考えている ⇒( )人 |

問5 あなたは日常生活における交通手段の利便性(不便、便利)について、該当する番号をひとつだけ○で囲んでください。また、その理由等について、該当する番号を全て○で囲んでください。

1. 不便である	どのような時、不便を感じるか、該当する番号を○印で囲んでください。 (1)通院 (2)買い物 (3)通勤・通学 (4)その他
2. 便利である	便利であるとした理由について、該当する番号を○印で囲んでください。 (1)自動車、バイク等で自由に移動できる (2)公共交通(バス、タクシー)が利用できる (3)家族や友人が必要に応じて送迎してもらえる (4)その他

※問6のアンケート(裏面)にお進みください。

**問6** 現在、同居しているご家族のうち、65歳以上の方の、主な外出行動（①外出目的、②外出先、③頻度、④時間帯、⑤交通手段）について、おたずねします

※同居しているご家族のうち、65歳以上の方がいない場合、あなたの主な外出行動（①外出目的、②外出先、③頻度、④時間帯、⑤交通手段）について、ご記入ください。

**(1) 1番多い「外出行動」について、おたずねします。**

①外出目的について、該当する番号ひとつだけ○印で囲んでください。

1. 通院	2. 買い物	3. 通勤・通学
4. その他 ( )		

②上の外出先の場所について該当する番号をひとつだけ○印で囲み、その施設名称（※○○クリニック、○○スーパー等）を ( ) 内にご記入ください。※複数ある場合でも、一番よく行く外出先をご記入ください。

1. 新方地区内 ( )
2. 越谷市内 ( )
3. 越谷市外 ( )

③上の外出先に、週何回くらい外出されるのかについて該当する番号を、ひとつだけ○印で囲んでください。※複数ある場合でも、一番多いと思う利用回数をご記入ください。

1. ほぼ毎日	2. 2日に1回程度	3. 3日に1回程度
4. 1週間に1回程度	5. 1か月に1回程度	
6. その他 ( )		

④上の外出先に、何時頃に自宅を出て、何時頃に帰宅するのかについて、良く移動する時間帯をご記入ください。※複数ある場合でも、一番多いと思う利用時間帯をご記入ください。

おおむね ( ) 時ごろ	自宅を出る。
おおむね ( ) 時ごろ	自宅に帰る。

⑤上の外出先に、どのような交通手段で移動するのかについて、該当する番号をひとつだけ○印で囲んでください。なお、外出先が、「越谷市内」又は「越谷市外」で、電車を利用する場合は、利用駅までの交通手段を囲んでください。※複数ある場合でも、一番多いと思う交通手段をご記入ください。

1. 自家用車（自分で運転する）	2. 自家用車（家族等の運転）
3. バス	4. バイク
5. 自転車	6. 徒歩
7. タクシー	8. その他 ( )

※問6の(2)のアンケート(右側)にお進みください。↑

**(2) 2番目に多い「外出行動」について、おたずねします。**

①外出目的について、該当する番号ひとつだけ○印で囲んでください。

1. 通院	2. 買い物	3. 通勤・通学
4. その他 ( )		

②上の外出先の場所について該当する番号をひとつだけ○印で囲み、その施設名称（※○○クリニック、○○スーパー等）を ( ) 内にご記入ください。※複数ある場合でも、一番よく行く外出先をご記入ください。

1. 新方地区内 ( )
2. 越谷市内 ( )
3. 越谷市外 ( )

③上の外出先に、週何回くらい外出されるのかについて該当する番号を、ひとつだけ○印で囲んでください。※複数ある場合でも、一番多いと思う利用回数をご記入ください。

1. ほぼ毎日	2. 2日に1回程度	3. 3日に1回程度
4. 1週間に1回程度	5. 1か月に1回程度	
6. その他 ( )		

④上の外出先に、何時頃に自宅を出て、何時頃に帰宅するのかについて、良く移動する時間帯をご記入ください。※複数ある場合でも、一番多いと思う利用時間帯をご記入ください。

おおむね ( ) 時ごろ	自宅を出る。
おおむね ( ) 時ごろ	自宅に帰る。

⑤上の外出先に、どのような交通手段で移動するのかについて、該当する番号をひとつだけ○印で囲んでください。なお、外出先が、「越谷市内」又は「越谷市外」で、電車を利用する場合は、利用駅までの交通手段を囲んでください。※複数ある場合でも、一番多いと思う交通手段をご記入ください。

1. 自家用車（自分で運転する）	2. 自家用車（家族等の運転）
3. バス	4. バイク
5. 自転車	6. 徒歩
7. タクシー	8. その他 ( )

※アンケート調査は終了です。ご協力ありがとうございました。  
なお、いただきましたご意見などについては、個別の回答は致しませんのでご了承ください。